

「非暴力で世界を変える-活動家という生き方」 (仮題) 出版します クラウドファンディングにご協力を

著者 アンジー・ゼルター (英国 平和活動家) 2001年ライト・ライブリフッド賞
(第二のノーベル賞) 受賞 前書き: 川崎哲氏 (核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営
委員, ピースボート共同代表)

原書: Angie Zelter, "Activism for Life",
Luath Press (UK), 2021.

クラウドファン
ディングサイト
↓ →



ブログで
紹介→



クラウドファンディング期間: 2023年9月22日-12月8日
2024年 1月頃 出版予定 出版社 南方新社 (鹿児島)

[https://camp-fire.jp/
projects/view/675547](https://camp-fire.jp/projects/view/675547)
または上のタイトルで検索

pegasus1.blog
.ss-blog.jp/
2021-04-28

インドネシアに輸出される戦闘機を破壊して無罪
原子力潜水艦の実験施設を破壊して無罪 (下の写真)
非暴力に徹する活動家アンジー・ゼルター

このプロジェクトは「実行型」つまり目標
金額の達成/未達成に関わらず実施されます

ライト・ライブリフッド賞ほか、数々の賞に輝く女性の記録

著者のアンジーは1972年に大学を卒業後、夫と共にカメルーンに移住。そこで地域の支援活動を志しますが、逆に現地の友人に、貧しい国を本当に助けたいならば、むしろ、低開発国の資源搾取などで貧困の原因を作っている祖国イギリスに帰って、そこを何とかしろと言われます。これで「先進国」の問題に気づかされたのが彼女の活動の原点です。

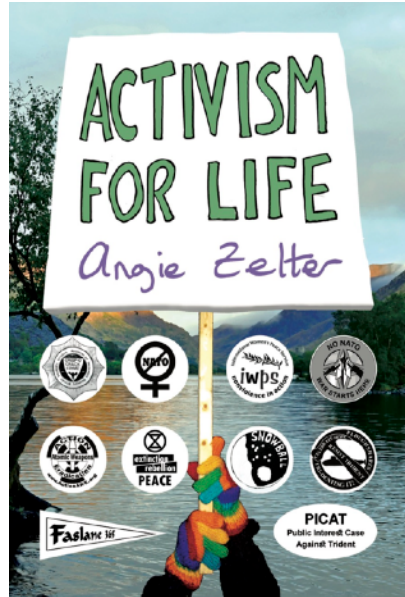
母国に帰ったアンジーは、女性たちだけで米軍基地への侵入を繰り返し、ついには閉鎖に追い込んだ「グリーンナムコモン」(基地の地名)運動に参加、次いで独自に、軍事基地のフェンスを切るなどの「スノーボール」(雪だるま式に広がる、の意)キャンペーンを開始します。

これはソ連に対抗してアメリカがヨーロッパに中距離核 (INF) を配備しようとしたのに対する抗議で、全ヨーロッパで同様の運動が盛り上がり、ついにはこれを全廃する条約が米ソの間で締結されました。平和運動の成功例と言っていいでしょう。

その後、冒頭の戦闘機破壊、核兵器廃絶のための直接行動と、目覚ましくその範囲が、分野だけでなく、地理的にも広がります。分野は森林保護、武器貿易問題、気候危機などなど、そしてマレーシア、イスラエル/パレスチナ、韓国など、地球を股にかける行動力。その中で数多くの逮捕、出廷、投獄を経験しました。しかしすべては一貫して非暴力を貫きます。

出来上がった本を読まれば、行動のスケールの大きさ、その中での細かい気配りと思いやり、そして何よりも頭の良さに驚嘆されることを請け合います。

出版のためのクラウドファンディングにご協力をお願いします。3000円コースのリターンは出版される本です。支払いはクレジットカード、銀行、ゆうちょ、コンビニなど多様。



「非暴力で世界を変える-活動家という生き方」翻訳刊行委員会
大津留公彦¹(歌人/俳人), 川島めぐみ²(翻訳家), 豊島耕一³(佐賀大学名誉教授) ¹(08065406320) kimihiko_ootsuru3@yahoo. co. jp
² articlenine@hotmail. com ³ toyosima@ta2. so-net. ne. jp

無罪判決を喜ぶウラ、アンジー、エレン
グリーンノック地裁前、1999年10月

(10月15日改訂 文責 豊島耕一)